

日本センチュリー交響楽団

ハイドン：
交響曲第103番 変ホ長調
「太鼓連打」Hob.I:103

HAYDN: Symphony No. 103 in E flat Major
"The Drum Roll", Hob.I:103

[指揮]
飯森範親

© s.yamamoto

[指揮]
外山雄三

大阪交響楽団

チャイコフスキー：
バレエ組曲「くるみ割り人形」
作品71a

TCHAIKOVSKY: The Nutcracker, Op. 71a

フェスティバルシティ・オープン記念
第55回大阪国際フェスティバル2017

大阪4大オーケストラの響演

*We Love
The Osaka
Four Orchestras!*

[指揮]
角田鋼亮

大阪フィルハーモニー交響楽団

R.シュトラウス：
交響詩「ドン・ファン」作品20

R. STRAUSS: Don Juan, Op. 20

[指揮]
藤岡幸夫

関西フィルハーモニー管弦楽団

レスピーギ：交響詩「ローマの松」P. 141

RESPIGHI: Pines of Rome

4月は「4オケ」!

2017 **4.8** (土) 15:30「ファンファーレ」「ホルンアンサンブル」「プレトーク」
16:00開演 (15:00開場 19:00終演予定)
フェスティバルホール 〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18
京阪中之島線「添辺橋」駅12番出口直結
地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅1A出口

S席8,500円 A席7,000円 BOX席14,000円 バルコニーBOX席(2席セット)17,000円 学生席1,000円(限定100席/25歳以下/当日指定席と引き換え。学生証を提示してください) [全席指定(消費税込み)]

*バルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンター(電話予約)のみの販売 *学生席はフェスティバルホール(学生本人の名前でご予約ください)

チケット一般発売日	フェスティバルホール クラブ会員 予約受付開始	2016 11/26(土) 10:00~
2016 12/11(日) 10:00~	フェスティバルホール オンライン会員 予約受付開始	2016 12/3(土) 10:00~

大阪フィルチケットセンター会員予約受付開始	2016 11/29(火) 10:00~
大阪交響楽団会員予約受付開始	
関西フィルハーモニー管弦楽団会員予約受付開始	*各オーケストラの 一般発売は 12月12日(月)より
センチュリーチケットサービス会員予約受付開始	

*各オーケストラに直接お申し込みください

コンサートの前後に
楽しい企画が
盛りだくさん。

詳細は
裏面に!

- 開演前の15:30に4オケのプラメンパーによる特別演奏と、出演4指揮者によるプレトークをステージで開催します。
- 終演後、お客様全員が参加出来るプレゼント企画があります。参加申し込みは不要。終演後、ほんの少しだけホールに残ってください!

予約センター

ガイド

- フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00) ※窓口での取扱は12月12日(月)より(ただし、残券がある場合のみ)
- フェスティバルホール オンラインチケット (要事前登録) <http://www.festivalhall.jp/> (PC・携帯共通)
- 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 (平日10:00~18:00 土曜日10:00~13:00 日祝休み) <http://www.osaka-phil.com/>
- 大阪交響楽団 072-226-5522 (平日10:00~17:00)
- 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381 (平日10:00~17:00 土曜日10:00~16:00 日祝休み)
- センチュリー・チケットサービス 06-6868-0591 (平日10:00~18:00)

- E+イプラス <http://eplus.jp/> ●チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 313-9511] <http://t.pia.jp/>
- ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) 0570-084-005 [Lコード 54022] <http://l-tike.com/>
- CNプレイガイド 0570-08-9990 <http://cncn.jp/>

主催：朝日新聞文化財団、朝日新聞社、大阪国際フェスティバル協会、フェスティバルホール、大阪交響楽団
大阪フィルハーモニー協会、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団
協賛：朝日放送、サントリーホールディングス、高砂熱学工業、竹中工務店、阪神電気鉄道

*やむを得ない事情により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。予めご了承ください。
*未就学児のご入場はご遠慮ください。



飯森範親(指揮) 日本センチュリー交響楽団

Comment

3回連続で指揮をさせていただき光栄に思っております。これまでセンチュリーが得意とする作品を採り上げてきましたが、今回は更に満を持しての「ハイドン」で挑みます。「ハイドンマラソン」と名付けて交響曲全てを演奏し、録音プロジェクトを2年前にスタートしました。今回は、「太鼓連打」でその成果を皆様にご披露いたします。この演奏を通して、壮大なプロジェクト「ハイドンマラソン」への興味や関心が、更に深まっていたことを願っています。



Profile

1989年に活動を開始。2014年より首席指揮者に飯森範親、首席客演指揮者にアラン・ブリバエフを迎え新たなスタートを切った。2015年にはアーティスト・イン・レジデンスに小山実稚恵を迎え、シンフォニー・いずみ両ホールでの定期演奏会を展開。2016年から豊中市立文化芸術センターの指定管理事業に携わり、豊中の文化芸術の発展に尽力している。指揮者飯森範親は、桐朋学園大学指揮科卒業後ベルリン、ミュンヘンで研鑽、2001年にドイツヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音し日本ツアーも成功に導いた。



角田鋼亮(指揮) 大阪フィルハーモニー交響楽団

Comment

初めて「響演」に参加させて頂くこと、飛び立つような喜びを感じています。R・シュトラウスの交響詩「ドン・ファン」は、24歳の天才作曲家が力の限りを尽くして書き上げたプレイボーイの物語。冒頭のエネルギーの噴出から、美しく魅力的なメロディが次々と溢れ出し、その色彩は輝かしいばかり。2017年に70周年を迎える大阪フィルと、作品の持つ高みへ到達できればと思っています。大フィルサウンド、ご期待ください!



Profile

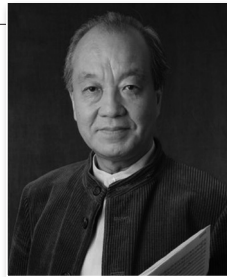
1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、2001年まで55年間朝比奈隆が常任指揮者・音楽総監督を務めた。現在は、2014年より首席指揮者を務める井上道義と2016年4月に指揮者に就任した角田鋼亮の2人体制で活動を展開。フェスティバルホールでの「定期演奏会」のほか「大阪クラシック」など多彩な演奏活動を行っている。指揮者角田鋼亮は、東京藝術大学大学院指揮科及びベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。現在、大阪フィルの他にセントラル愛知交響楽団指揮者も務めており、日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。



外山雄三(指揮) 大阪交響楽団

Comment

ひとつのコンサートホールに、ふたつのオーケストラが同時にいることだって本来ありえない話。まして指揮者が4人も一緒に居るなんて想像もできない。オレ以外の指揮者はみんないなくなればいいのにと指揮者は思うものだ、などという怖い話もヨーロッパにはあるが私たちがなぜか仲良し。でも一種のコンクールみたいだな、とも思うから自分が指揮するオーケストラを優勝させたい。華麗で精密な「くるみ割り人形」を目指す。



Profile

1980年創立の大阪交響楽団は、永久名誉楽団代表・数島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!」をモットーに提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」であると評されている。ミュージックアドバイザー 外山雄三、常任指揮者 寺岡清高。知られざる名曲に光をあてるディスカヴァリー・クラシックシリーズなど、斬新で意欲的なプログラムは大きな注目を集めている。指揮者 外山雄三は1931年東京生まれ。1952年、芸大卒業と同時にN響に打楽器奏者として入団。その後1956年9月N響を指揮して指揮者デビュー。以来各オーケストラに数多く客演を開始。海外のオーケストラや国際コンクールなどにも度々招かれている。作曲家としての活躍も旺盛で、その範囲はオペラ、バレエ、交響曲、協奏曲など多岐にわたる。「管弦楽のためのラプソディー」は特に有名。現在、N響正指揮者を務める。サントリー音楽賞など受賞歴多数。



藤岡幸夫(指揮) 関西フィルハーモニー管弦楽団

Comment

3回目を迎えた“大阪4大オーケストラの響演”は大阪ならではの企画です。なんとと言っても大阪には大阪の楽団の指揮者になったら他の大阪の楽団の指揮台には立たないという暗黙の掟があります(東京との大きな違い)。故に各楽団の個性がハッキリしています。関西フィル&藤岡は毎年約30~40公演を共演して18年目を迎える大阪で最も濃い関係!我々ならではの一体感あるパフォーマンスをお楽しみください!



Profile

藤岡幸夫は2007年から関西フィル首席指揮者を務め15年目となる。慶応義塾大学、英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。2014年10月よりスタートしたBSジャパンの番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週月曜日夜11時)に指揮者・司会者として、関西フィルと共にレギュラー出演中。1970年発足の関西フィルは、世界的ヴァイオリニスト、オーギュスタン・デュメイが音楽監督を、桂冠名誉指揮者は飯森泰次郎が務めている。2015年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー(合計5公演)をデュメイの指揮で開催し、各地で大きな注目を集めた。

コンサートの前後に楽しい2つの企画

■「ファンファーレ」「ホルンアンサンブル」「プレトーク」
公演開演前の15時30分より、4オケ祝祭プラスアンサンブルが舞台上で演奏します。旧フェスティバルホール時代の大阪国際フェスティバル開幕を告げた「ファンファーレ」(團伊玖磨作曲)と、4オケホルン奏者によるアンサンブル演奏(曲目は当日まで非公表)をお楽しみください。「4オケ」恒例の「プレトーク」も開催します。飯森範親、外山雄三、角田鋼亮、藤岡幸夫が公演の聴きどころや、この公演にかけるそれぞれの熱い想いを語ります!

■プレゼント企画：4オケを聴いて4オケを当てよう!
終演後にフェスティバルホールの舞台上で公開抽選を行います。4つのオーケストラが2017年5月から10月にかけて開催する演奏会(各団体1公演ずつ、計4公演)のペア招待券を、最後までコンサートをお聴きいただいたお客様の中から4名様様にプレゼントします。事前の参加登録は一切不要。チケットをご購入の上、公演終演時に客席にいらっしゃる事が参加の条件です。

「大阪4大オーケストラの響演」満喫講座

「大阪4大オーケストラの響演」をより深く楽しんでいただくための講座を開催します。講座と公演チケット(S席)のセット券を販売します。講座は申込先着順で定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込み下さい。

- 日時：2017年4月8日(土) ■料金(S席チケット含む)：12,000円(消費税込)
- 講座：10:30~11:15(予定)、リハーサル見学(日本センチュリー交響楽団)11:45~12:15(予定)
- 会場：フェスティバルホール ■講師：飯森範親(日本センチュリー交響楽団首席指揮者)

(ご予約) 朝日カルチャーセンター中之島(06-6222-5224) ※受付開始日：12月11日(日)
(ホームページ) <http://www.asahiculture.jp/> 主催：朝日新聞社、朝日新聞文化財団、朝日カルチャーセンター

「フェスティバルシティ」誕生!



2017年春、大阪・中之島に、高さ200mの国内最高峰のツインタワー「中之島フェスティバルタワー」(中之島フェスティバルタワー・ウエスト)からなる新しい街、「フェスティバルシティ」が誕生します。音楽の殿堂・フェスティバルホールをはじめ、美術館、高級ホテル、オフィス、商業施設などが入り、文化・経済の一大拠点となります。